

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
生物	3	5	改訂版 生物（数研出版）	三訂版リード Light ノート生物（数研出版）
到達目標 - 生物基礎との関連を図りながら、生物や生物現象をさらに広範囲に取り扱い、生物学的に探究する能力と態度を身に付ける。 - 生物学における基本的な概念を理解し、観察・実験などの技能を習得する。 - 実験から得られたデータをまとめ、適切な考察を行うことができる。 - 生物や生命現象についての学習を通して、自然に対する畏敬の念や、生命を尊重する態度を養う。				

評価の観点	評価の内容
a 関心・意欲・態度	授業に意欲的・積極的に参加し、自ら学ぶ姿勢で臨んでいるか。
b 思考・判断・表現	得られた情報や知識から問題を見つけ、科学的判断ができ、表現できているか。
c 観察・実験の技能	実験器具などの操作や、結果の整理、考察などができているか。
d 知識・理解	学んだことを理解し、自身の知識として定着しているか。
評価の方法	
各定期考査、単元テスト、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価となります。	

年間指導計画													
前期							後期						
月	予定 時数	学習内容	評価の観点				月	予定 時数	学習内容	評価の観点			
			a	b	c	d				a	b	c	d
4	17	第1編 生命現象と物質 第1章 細胞と分子 第2章 代謝	○			○	10	21	第4編 生態と環境 第7章 生物群集と生態系				○
5	21	第3章 遺伝情報の発現		○			11	21					
		【前期中間考査】							【後期中間考査】				
6	20	第2編 生殖と発生 第4章 生殖と発生		○			12	20	第5編 生物の進化と系統 第8章 生命の起源と進化				○
7	14						1	10	第9章 生物の系統		○		
8	10								【後期期末考査】				
9	21	【前期期末考査】											
		第3編 生物の環境応答 第5章 動物の反応と行動 第6章 植物の環境応答		○		○							
							計 175						

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項 - 教科書、副教材等は毎回持参し、身だしなみを整え、状況に応じた態度で授業を受けること。 - 授業の前半はスライドを用いて説明を行い、後半は学んだ内容から自らまとめ、思考する形式を基本とする。 - 知識のインプットだけではなく、アウトプットにも重点を置き、他者へ説明する力を育成する。
--